

# 研究実施のお知らせ

2021年7月13日 ver.1.0

## 研究課題名

バセドウ病女性における骨格筋量と骨粗鬆症の関連についての後方視的検討

## 研究の対象となる方

2004年1月から2021年3月の間に島根大学医学部附属病院で〇〇と診断され、バセドウ病の治療を受けられた女性

## 研究の目的・意義

バセドウ病患者さんは骨折しやすいとされています。しかし、どのような方が骨折しやすいかについては未だはっきりしていません。また、バセドウ病患者さんは発症後に骨格筋量が減ることが知られています。そこで、バセドウ病患者さんにおいて、骨格筋量と骨密度や骨折との関係を調べることで、骨格筋量が骨粗鬆症に関係しているか否かについて明らかにすることを目的に研究を行います。この結果、骨格筋量が少ない方ほど骨密度が低く、骨折の危険が高いという結果になれば、骨格筋量が少ない方でより注意しておいていただく、骨折予防対策の治療を行うことができるということにつながることを期待されます。

## 研究の方法

・バセドウ病の方に関して、過去のカルテ記載を確認して、以下の項目を集積させていただきます。

診療録より：

身長、体重、喫煙歴、飲酒歴、閉経年齢、骨折歴、ご両親の骨折の有無

血液・尿検査結果より：

Alb、ALT、ALP、Ca、リン、Cr、eGFR、Intact PTH、HbA1c、甲状腺関連指標：  
骨折評価時の甲状腺ホルモン(Free T<sub>3</sub>、Free T<sub>4</sub>、TSH)、抗体価(TRAb、TSAAb、  
TgAb、TPOAb)、骨代謝マーカー(尿中 NTX)

骨密度検査結果（骨格筋量についても骨密度検査の結果に含まれます）

胸腹部 X 線検査結果

・バセドウ病の方と骨ドックを受けられた方のデータを比較して、椎体骨折が存在する方の割合に差があるのか、さらに椎体骨折が存在する方にはこういった特徴があるのかについて検討いたします。

・個人情報に関しては、本研究のみを目的に使用します。解析、公表の際にも個人

が同定できないようにカルテより情報を集積します。

### 研究の期間

2021年8月（研究許可後）～2022年3月

### 研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を特定できる情報を使用することはありません。

### 研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部内科学講座内科学第一 野津 雅和

### 情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2022年3月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

### 相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部内科学講座内科学第一 野津 雅和

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2183 FAX 0853-20-8650